

令和8年度	土佐塾中学校入学試験問題(前期)	算数	3枚のうち1枚目
-------	------------------	----	----------

答えを解答らんに記入し、指示のあるところは式または考え方も示しなさい。

1 次の にあてはまる数を記入しなさい。

(1) $33 + 27 \times 46 + 44 =$

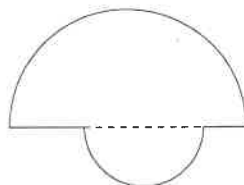
(2) $\left(\frac{1}{3} + 0.2\right) \div \left(3.6 + \frac{2}{5}\right) + \left(0.2 + \frac{2}{3}\right) =$

(3) $100 - \left(127 - \text{$ $\right) \times \frac{3}{4} = 40$

(4) $\frac{2}{3} \div 0.4 - \left(1\frac{5}{6} - 3 \times 0.5\right) =$

(5) $0.125 \times 0.125 \div \frac{1}{320} =$

(6) 右の図は、半径8cmの半円と半径4cmの半円を組み合わせたものです。この図形のまわりの長さは cmです。
ただし、円周率は3.14とします。



(7) 3けたの8の倍数のうち、小さい方から数えて20番目の数は

です。

(8) 1本80円のえんぴつと1本140円のボールペンを合わせて15本買うと、代金は

1680円でした。このとき、買ったえんぴつの本数は

本です。

(9) 面積が27cm²の四角形を2つの四角形に切り分けると、その面積の比が6:7になりました。小さい方の四角形の面積は

cm²です。

(10) はじめ、太郎君は2000円、次郎君は1800円持っていました。2人が1個140円

のおかしをそれぞれ

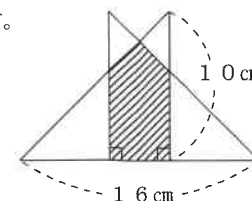
個ずつ買うと、次郎君の所持金は太郎君の所持金の

$\frac{3}{8}$ 倍になりました。

(11) 右の図は、2つの合同な直角二等辺三角形を重ねたものです。

斜線部分の面積は

cm²です。



受験番号
小計

令和8年度	土佐塾中学校入学試験問題(前期)	算数	3枚のうち2枚目
-------	------------------	----	----------

(12) ある規則にしたがって並んでいる数の列

1, 9, 8, 6, 1, 9, 8, 6, 1, 9, 8, 6, 1, ……

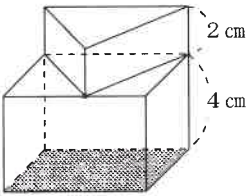
があります。1番目から50番目までのすべての数の和は

です。

(13) 右の図は直方体と三角柱を組み合わせた立体です。

直方体の底面積が 36 cm^2 のとき、この立体の体積は

cm^3 です。



(14) Aさんが3歩で進む距離をBさんは2歩で進みます。Aさんが5歩進む間にBさんは4歩

進むとき、AさんとBさんの進む速さの比を最も簡単な整数の比で表すと

:

です。

(15) 次の条件①～④すべてにあてはまる数は

です。

① 3けたの整数です

② 一の位と百の位の数が同じです

③ 各位の数を足すと15です

④ 4で割り切れます

② あるクラスには男子と女子合わせて45人います。男子の人数は女子の人数の1.25倍です。このクラスの全員にアンケートをとったところ、「スポーツが好き」と答えた人は男子が80%、女子が60%でした。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 男子、女子の人数はそれぞれ何人ですか。

【式または考え方】

男子	人	女子	人
----	---	----	---

(2) 「スポーツが好き」と答えた人は全部で何人ですか。

【式または考え方】

人

(3) 「スポーツが好き」と答えた人全員を、いくつかの男子だけのチームと女子だけのチームに分けます。すべてのチームの人数を同じにし、1チームの人数をできるだけ多くします。このとき、1チームの人数は何人になりますか。

人

受験番号
小計

③ 図1のように、長方形ABCDの辺AD、BCにそって動く点P、Qがあります。点P、Qは同時にそれぞれ頂点A、Cを出発して、点Pは毎秒3cm、点Qは毎秒2cmの速さで、それぞれ辺AD、BCにそって往復します。また、4点A、B、Q、Pをこの順で結んでできる図形を⑦とします。

図2は点P、Qが出発してからの時間と⑦の面積の関係をグラフに表したものです。点Qが1回往復する間について、次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

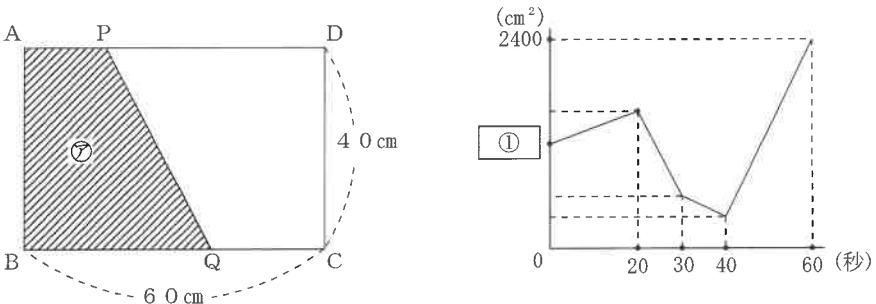


図1
 図2

点P、Qが出発してから40秒後の⑦の面積は ② cm²です。40秒後から60秒後までの⑦の面積は1秒間に ③ cm²ずつ増えます。⑦の面積が2000cm²になるのは点P、Qが出発してから ④ 秒後です。

(1) 図2の①にあてはまる数を答えなさい。

(2) 文章の②～④にあてはまる数を答えなさい。

②		③		④	
---	--	---	--	---	--

④ 次はAさんとBさんの会話です。この会話文を読んで次の問いに答えなさい。また、表は2026年の各月の日数を表したものです。

A：来月の3月8日の日曜日に遊びに行きましょう。

B：いいけど、Aさんが見てるのは2月のカレンダーだよ。2月8日は日曜日だけど、3月8日は日曜日であってるの？

A：うん。2月は28日までであって、28は ア の倍数だから、2月と3月の『曜日の並び』は同じだよ。

B：へえ、そうなんだ。他にも『曜日の並び』が同じ月はあるのかな。

A：4月と7月も同じ『曜日の並び』だよ。だって、4月から イ 月までの各月の日数の合計が ア の倍数になるからね。

B：なるほど、おもしろいね。あつ、同じ方法で考えると9月と ウ 月も同じだよ。

A：そうだね。実は、2月と3月だけでなく、エ 月も同じ『曜日の並び』になるよ。

B：ほんとだ。^{みぢか}身近なものでもいろいろ考えてみると楽しいね。

(注)『曜日の並び』は、各月の1日目からの曜日の並びを表しています。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31

(1) 空らんアとイにあてはまる数を答えなさい。

ア		イ	
---	--	---	--

(2) 空らんウにあてはまる数を答えなさい。

(3) 空らんエにあてはまる数を答えなさい。

受験番号
小計